

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成23年6月16日(2011.6.16)

【公開番号】特開2011-59458(P2011-59458A)

【公開日】平成23年3月24日(2011.3.24)

【年通号数】公開・登録公報2011-012

【出願番号】特願2009-210014(P2009-210014)

【国際特許分類】

G 0 3 G 15/08 (2006.01)

【F I】

G 0 3 G 15/08 5 0 5 A

G 0 3 G 15/08 1 1 2

【手続補正書】

【提出日】平成23年4月21日(2011.4.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

現像剤を収容すると共に、第 1 の開口部を介して前記現像剤を供給する収容部と、
前記第 1 の開口部の周囲に前記収容部の外部に向けた凸形状挟持部と、
前記第 1 の開口部と対応する位置に形成された第 2 の開口部と、
前記第 2 の開口部の周囲に配設されたシール部材とを備えること
を特徴とする現像装置。

【請求項 2】

前記凸形状挟持部は、前記第 2 の開口部の形状に対応し、且つ、前記シール部材に対応
して備えられること
を特徴とする請求項 1 記載の現像装置。

【請求項 3】

現像剤を収容すると共に、第 1 の開口部を介して前記現像剤を供給する第 1 の収容器と
、
前記第 1 の開口部に対応する形状で形成された第 2 の開口部と前記第 2 の開口部の周囲
を囲むように配設されたシール部材とを有する第 2 の収容器と、を備え、
前記第 1 の収容器は、前記第 2 の収容器に対向する面に少なくとも 1 つ以上の凸形状挟
持部を備えること
を特徴とする現像装置。

【請求項 4】

前記凸形状挟持部は、前記第 2 の開口部の形状に対応し、且つ、前記シール部材に対応
して備えられること
を特徴とする請求項 3 記載の現像装置。

【請求項 5】

現像剤を収容すると共に、第 1 の開口部を介して前記現像剤を供給する第 1 の収容器と
、
前記第 1 の開口部に対応する形状で形成された第 2 の開口部と前記第 2 の開口部の周囲
を囲むように配設されたシール部材とを有する第 2 の収容器と、を備え、
前記第 1 の収容器は、前記第 2 の収容器に対向する面に少なくとも 1 つ以上の第 1 の挟

持部を備えると共に、前記第 2 の収容器は、前記第 1 の収容器に対向する面に少なくとも 1 つ以上の第 2 の挟持部を備えること
を特徴とする現像装置。

【請求項 6】

前記第 1 の挟持部と前記第 2 の挟持部との形状は、凸形状であること
を特徴とする請求項 5 記載の現像装置。

【請求項 7】

前記第 1 の挟持部と前記第 2 の挟持部との形状は、凸形状と凹形状との組合せであること
を特徴とする請求項 5 記載の現像装置。

【請求項 8】

前記第 1 の挟持部と前記第 2 の挟持部との挟持部間の距離は、前記シール部材の無負荷時の厚さよりも短いこと
を特徴とする請求項 5 乃至 7 の何れかに記載の現像装置。

【請求項 9】

前記シール部材は、前記第 1 の収容器、又は前記第 2 の収容器の何れかの収容器に対向する面に接着部を備えること
を特徴とする請求項 5 乃至 8 の何れかに記載の現像装置。

【請求項 10】

前記シール部材は、前記第 1 の収容器の押圧による圧縮可能なウレタンスポンジからなること
を特徴とする請求項 5 乃至 9 の何れかに記載の現像装置。

【請求項 11】

現像剤を収容すると共に、第 1 の開口部を介して前記現像剤を供給する収容部と、
前記第 1 の開口部の周囲に前記収容部の外部に向けた凸形状挟持部と、
前記第 1 の開口部と対応する位置に形成された第 2 の開口部と、
前記第 2 の開口部の周囲に配設されたシール部材とを備える現像装置を有すること
を特徴とする画像形成装置。

【請求項 12】

現像剤を収容すると共に、開口部を介して前記現像剤を供給する収容部と、
前記開口部の周囲に前記収容部の外部に向けた凸形状部とを備えること
を特徴とする現像剤収容器。

【請求項 13】

現像剤を収容すると共に、開口部を介して前記現像剤を供給する収容部と、
前記開口部の周囲に前記収容部の外部に向けた凸形状部とを備える現像剤収容器を有すること
を特徴とする画像形成装置。